



図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q 指先の運動がしたいんだけど、なにか良い本ないかしら。

A こちらの折り紙の本はいかがでしょう。



使う・遊ぶ
博士の実用夢折り紙

川崎敏和 / 著
朝日出版社

指先の運動にもなり、いろいろな作り方が載っているので、楽しみながら続けられそうですね♪箱は完成したら、小物入れやお菓子入れなどとして使ってみてはいかがでしょうか。

レファレンスとは情報や本などを探すお手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

小説・エッセイ	『異邦人』 原田マハ / 著 PHP 研究所
社会教育	『STORY OF UJI 小説源氏物語』 林 真理子 / 著 小学館
料理	『「使いきる。」レシピ 有元葉子の「しまつ」な台所術』 有元葉子 / 著 講談社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

カピバラショーに向けて

■カピバラが来た!

新オープンした水槽で展示が始まった、水辺に暮らす大型のネズミの仲間「カピバラ」たちは福島と伊豆の動物園からそれぞれやってきました。水族館にやってきた日はスタッフ総出で通用門の前でドキドキしながら待ちました。どんなふうになってくるかというと、中型犬用のゲージ(檻)に入つてワゴン車に乗せられてやってきました。これはアシカも同じです。来たその日からエサを食べてくれ、

■満点の展示を目指して

カピバラ水槽の水槽自体は通常の飼育展示水槽なので、これだけでは竹島水族館にとつて完成形ではありません。これを満点の展示にするために私はやや強引に飼育担当で選抜されたスタッフ3名にアシカのようにカピバラの「トレーニング」をおこない、近い将来お客さんによる「エサやり体験」やおそらく日本初である「カピバラのショー」をやるようにとお



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

願いました。任された担当3人は、カピバラはそこにいるだけで人気があり癒される生き物なのでなにもショーなんか無理にしくても…という態度・姿勢を全身から放散させているように思えましたが、見ないふりをしていたらあきらめたのか積極的にトレーニングを進めてゆき、来館10日目あたりには後ろ足のみで立ち上がり、輪くぐり、ボディタッチなどを可能にさせました。特にオスは環境になれるのが早くトレーニングは順調に進んでいます。

■トレーニグは危険

アシカでも同じですが、トレーニングの基本は「動作とそれに対する報酬」で、つまり何かやったらご飯をあげるよ、何かやるからご飯をくださいよ、という契約を

動物と人間の間で交わすことです。単にエサを床に置いて食べなさい、ではないので必然的にエサを手段とした互いの接触が不可欠になります。このときスタッフにとつて危険なのが噛みつかれることです。言葉の通じない未知の動物との接触で噛みつかれるのは何よりも怖く、また我々はもはや職人なので「噛まれたらネタになる」というアサハカな期待もあります。担当ではないスタッフにとつては「早く長靴でも噛まれて穴が開くくらい」のハプニングが起きないかな」と悪い期待をしていたりもします。しかし噛まれると後々お互いやっかいなので安全にトレーニングが進んでほしい、でもちよつとハプニングも欲しい複雑な心境なのです。